

Press Release  
2026年4月9日

外国人材雇用の鍵は「住まい」  
熊本で13年の支援実績を持つベトナムトレーディング株式会社が  
法人向け社宅を協同開発



法人ニーズに応える8室設計。  
“自社活用”と“資産運用”を両立する、一棟収益住宅。

外国人材の受け入れが増加している熊本県では、彼らが安心して暮らせる住まいの確保が新たな地域課題となっている。こうした課題の解決を目的に、ベトナムトレーディング株式会社(本社:熊本県、以下ベトナムトレーディング)は、株式会社リブワークと共同で、法人向け外国人材社宅の開発・監修を行った。

#### 外国人材雇用における「住まい」の課題

企業にとって社宅や寮は、従来の福利厚生枠を超え、採用力・定着率・事業成長に直結する「経営インフラ」へと変化している。

しかし現状では、以下のような課題が指摘されている。

- 外国人材の受け入れに適した物件が不足している
- 文化や生活習慣への配慮が十分でない
- 管理・運用の負担が大きい

こうした状況から、「採用したいが受け入れ環境が整わない」という企業も少なくない。

#### 当事者経験から生まれた視点

ベトナムトレーディングは、ベトナム人材の受け入れ実績13年を有し、これまで多くの外国人材の生活支援に携わってきた。

代表の澤村友里はベトナム出身であり、来日当初、言語や文化の違いによる孤独や困難を経験している。

その実体験を原点に、

「単なる住まいの提供ではなく、安心して暮らし、働ける環境を整えることこそが本質的な支援である」という考えに至った。

同社は「ベトナムと日本の架け橋」として、両国の文化や価値観の違いを乗り越え、互いに尊重し合いながら発展していく関係性の構築を目指している。  
この視点は、短期的な課題解決にとどまらず、日本とベトナムの長期的な共存と発展を見据えた事業活動へとつながっている。

#### 法人向け外国人材社宅の開発

こうした問題意識と知見を基盤に、外国人材が安心して暮らせる住環境の実現を目指し、全8室の法人向け社宅を開発した。

本社宅は、

- ・ 生活面・文化面での不安の軽減
- ・ 外国人材の定着支援
- ・ 企業側の運用負担の軽減

を目的として設計されており、企業と外国人材双方にとって持続可能な雇用環境の構築を目指している。

#### 地域課題と事業性の両立

本取り組みの特徴は、収益性の確保と地域の労働力不足という社会課題の解決を両立している点にある。

ベトナムトレーディングは今後も、ベトナムと日本をつなぐ存在として、両国の持続的な発展に貢献していく。



#### 【会社概要】

会社名：ベトナムトレーディング株式会社

所在地：熊本県熊本市東区戸島西1丁目16-22

代表者：澤村友里

設立：2013年9月20日

事業内容：

人材紹介事業／ベトナム語通訳・翻訳／日本語教育／貿易支援／ベトナム進出コンサルティング

URL：<https://www.vietnamtrading.co.jp/company>

【本件に関するお問い合わせ】

担当E-mailアドレス: [info@vietnamtrading.co.jp](mailto:info@vietnamtrading.co.jp)